平成 28 年度　事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

一般社団法人エル・システマジャパン

1.　事業実施の方針

昨年度に続いて相馬市、大槌町との締結されている「音楽で生きる力を育む事業」に関する協定書に基づき、下記の事業を実施する。なお、相馬市における一部事業は、昨年に引き続き市、及び国（文化庁）から特別補助金を受けて実施することとなる。これらの事業実施、モニタリング、及び、今後想定される他地域での新規活動展開を想定し、必要な各種広報、資金調達、調査活動を計画する。寄付者にとって更なる便宜を計るための環境整備の一環として、今年度中の公益社団法人化を目指すこととする。

2.　事業の実施に関する事項

非営利型の一般社団法人法に関わる事業を実施する。

相馬事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額（千円）
楽器修繕・購入、教材作成	今後、更なる参加希望者に対応するために必要な楽器の購入、定期的に必要な修繕。海外を含めて個人・法人からの寄贈を調整。また、弦楽器の統合型学習用タブレットアプリケーションの開発を進める。	4～3月	市内対象小中学校	左記の小中学校の児童生徒	12,250
音楽専門指導者の派遣	市内の全ての小中学生を対象とした週末弦楽器教室、中一小、八幡小、桜丘小における放課後クラブ活動、及び市内各校授業における合唱指導、金管楽器指導、鑑賞教室を中心に支援を行う。昨年に引続き、中高の吹奏楽部員がオケに参加できる仕組みを維持し、必要な支援を実施する。	4～3月	市民会館、防災備蓄倉庫、市内対象小中学校	市内小中学校の児童生徒、他未就学児	13,770
エル・システマ式プログラムの実施に関しての技術支援、管理運営業務。他、上記を実	エル・システマジャパンの代表理事/事務局長、他必要とされる外部専門家による技術支援（例：作曲教室）、及び、相馬コーディネーター、アシスタントによる管理運営。	4～3月	市内対象小中学校	市内小中学校の児童生徒、他未就学児	14,241
	これまでの外部評価調査結果を基に、慶應義塾大学による新たな外部インパクト評価調査を実施	7～3月	市内対象小中学校	市内小中学校の児童生徒、他未就学児	2,000

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額（千円）
施するための必要な支援	アンゴラ･カポソカ音楽学院オーケストラとの合同企画（相馬、東京）	5月	相馬市民会館、第一生命ホール	相馬子どもオケメンバー	400
	エル･システマ関連の必要な技術の向上のための大槌との合同研修会（相馬：8月）を実施。	8月	はまなす館	相馬子どもオケ＆コーラス	900
	その他交流事業（ベネズエラ、台湾、ドイツ）	7、11、3月	相馬市民会館、他	市内小中学校の児童生徒、他未就学児	925
	第3回子ども音楽祭の実施	12月	相馬市民会館	相馬子どもオケ＆コーラス、市内吹奏楽部	6,675

大槌事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額（千円）
楽器修繕・購入、教材作成	今後、更なる参加希望者に対応するために必要な楽器の購入、定期的に必要な修繕。また、必要な教材を作成する。	4～3月	町内対象小中学校、子どもセンター	左記の小中学校の児童生徒	3,100
音楽専門指導者の派遣	市内の全ての小中学生を対象とした放課後、週末弦楽器教室、及び既存の小中学校吹奏楽部への支援を行う。	1～12月	町内対象小中学校、子どもセンター	左記の小中学校の児童生徒、他未就学児	6,310
エル・システマ式プログラムの実施に関しての技術支	エル・システマジャパンの弦楽器指導者、及び、大槌コーディネーターによる管理運営。	1～12月	町内対象小中学校、子どもセンター	左記の小中学校の児童生徒	5,358
	エル・システマ関連の必要な技術の向	8月	相馬・はま	週末弦楽	200

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額（千円）
援、管理運営業務。他、上記を実施するための必要な支援	上のための合同研修会（相馬： ８月）を実施。		なす館	器教室参加児童生徒	
	相馬市の外部評価調査と連動して、慶應義塾大学による新たな外部インパクト評価調査を実施	7～3月	町内対象小中学校、子どもセンター	左記の小中学校の児童生徒	1,500

広報資金調達事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額（千円）
各種広報・資金調達活動	各種広報（HP、広報物作成）関連業務	4 ～ 3月			2,879
	資金調達（企業連携促進、個人寄付マーケティング、チャリティーガラ）関連業務	4 ～ 3月			6,212
	各種旅費、経費（新規事業地等への訪問のため）	8 ～ 3月			500